

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

スタッフ:CL 犬飼、SL 南山、義間、千賀、水嶋、松本み、桐原

受講生:入江、田村、坂井、上原

2. 山域／ルート

比良山系 武奈ヶ岳(1,214m)

3. 交通手段

公共交通機関(電車・バス)

4. 行動記録

1/20(土)

各地→JR 堅田駅前 8:50 発バス→9:40 坊村バス停→御殿山コース登山口 10:00→12:50 御殿山 13:10
→14:00 武奈ヶ岳 14:10→コヤマノ分岐 14:40→15:40 八雲ヶ原(テント泊)

1/21(日)

八雲ヶ原(雪上トレーニング 7:00-8:00)8:15→北比良峠 9:00→カモシカ台 10:00→11:00 イン谷口
→比良とぴあ入浴→JR 比良駅→帰宅

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

出発日にスタッフ1名が自宅から最寄り駅へ向かう時に転倒し顔や膝に怪我をして参加できなくなった。そのため班編成を急遽変更し班数を減らしたので不要になったテントなどの共同装備を往路下車駅のJR 堅田駅のコインロッカーへ預けてから入山した。帰宅途中に堅田駅へ立ち寄って装備の回収をした。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- 山行日の数日前に三月上旬並みの暖かい日が続き積雪量が少なく、標高 700 メートル付近からようやく残雪が現れた。標高 900 メートル付近以降概ね雪道となったが、武奈ヶ岳頂上で地面の土が見えている箇所もあった。
- 標高 950 メートル付近以降アイゼンを装着し、コヤマノ分岐手前付近ではワカンやスノーシューを装着した。アイゼンとワカン・スノーシューの歩行練習ができた。
- 今回、雪山テント泊は初めてという受講生が4名中3名いたが、問題なく体験できた。
- 八雲ヶ原でビーコンとゾンデ棒の使い方のトレーニングを実施した。
- 積雪量が不足しているため弱層テストと滑落停止トレーニングは実施できなかったが修了山行で行う予定である。



武奈ヶ岳山頂



八雲ヶ原でテント泊



ゾンデ棒の使い方練習